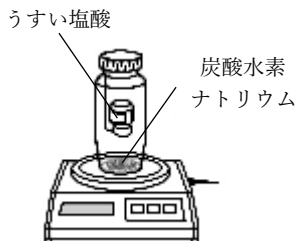




# 化学反応前後の質量

◎化学反応の前後で質量は変わらない法則 ( )実験

① 容器に、うすい塩酸と炭酸水素ナトリウムを入れ、ふたをして質量をはかる。



② 容器を傾け、混ぜる。

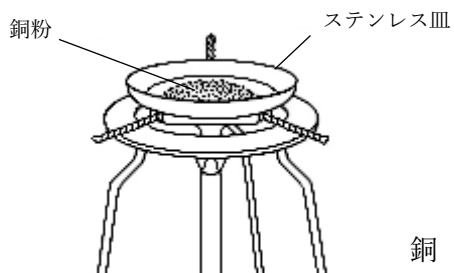
③ 質量をはかると①のときと ( )。

④ ふたをあけると、化学反応で発生した ( ) が逃げ、質量は ( )。

◎化合する質量

化合する質量の割合は ( ) いる。

① 銅粉の重さをはかる。



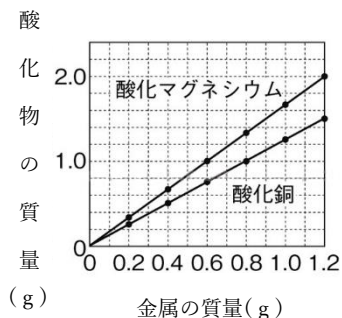
② 銅を加熱して ( ) にする。

③ できた ( ) の質量をはかる。

銅 + ( ) → 酸化銅 の反応がおきている。

銅が 0.4g のとき、酸化銅が ( ) g できる。

酸素が ( ) g 化合している。



化合する物質の質量比は 銅：酸素：酸化銅 = ( ) : ( ) : ( )

同様にマグネシウムでは

マグネシウム + 酸素 → 酸化マグネシウム の反応が

( ) : ( ) : ( ) になる。

例えば マグネシウム 0.3g を加熱すると、酸素は ( ) g、酸化マグネシウムは ( ) g となる。